

春光懇話会会報
Wave21

2019.11

No. **170**

特集 わが社の自慢のカレンダー



<http://www.shunko.jp>



トップインタビュー

春光会23社の社長にご登壇いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のこと等々、いろいろとお伺い致します。今回はSOMPOひまわり生命保険の大場社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願ひ致します。

SOMPOひまわり生命保険 社長 大場 康弘

生年月日 1965 (昭和40) 年9月30日
 出身地 鹿児島県薩摩川内市
 出身校 慶應義塾大学商学部
 略歴 1988年 安田火災海上保険 (現 損害保険ジャパン日本興亜) 入社
 2012年 NKSJホールディングス (現 SOMPOホールディングス) 人事総務部長
 2014年 NKSJひまわり生命保険 (現 SOMPOひまわり生命保険) 取締役執行役員 (囀) 経営企画部長
 2018年 代表取締役 社長執行役員
 趣味 登山、映画鑑賞、読書

—ご出身はどちらですか？

出身は鹿児島県の薩摩川内市で、人口7万人くらいの小さな都市です。いわゆる田舎町で、文化の香りがするものは、映画館が1つしかありませんでした。小学校時代は吹奏楽部でトランペットを吹いていました。昼休みも練習、学校が終わってからも練習で、小学校時代は吹奏楽中心の生活でした。ちょっと練習すれば今でも吹けると思います。中学では野球部に入り、高校時代はわりとまじめに勉強していました。担任の先生の勧めもあり東京の大学を受験しましたが、その時に初めて東京に来ました。大学は慶應義塾大学商学部に進学しました。

—大学生時代はどのように過ごしましたか？

東京で一番びっくりしたのは、映画館がたくさんあることでした。地方だと映画が唯一の娯楽でしたが、東京には名画座を始め映画館がたくさんあるわけです。大学時代は映画のサークルに入っていて、年間200本ぐらい観ていました。最初は、背伸びをしてフランス映画とか、アメリカンニューシネマを観ていましたが、最終的には日本映画の魅力に辿り着きました。サークルでは、自分たちで見つけてきた映画を、10日間くらい大学内の講堂で上映していました。マニアックで誰も知らないような映画ばかり上映していましたので、反響はさっぱりでした。私は代表をやっていたのですが、お金を含めて全部自分たちで企画して実行するので、何を上映するか喧々諤々やって、それが楽しかったです。アルバイトは、映画館で16ミリのフィルムを回す映写技師をしていました。暗室でやっているの、暗くて暑い部屋に閉じこもって、同じ映画を延々と写すわけです。ポール・ニューマンの『ハスラー』という映画は何十回も見ました。

—就職活動について教えてください。

もともと金融には興味がありましたが、安田火

災にゼミのOBがいて、OB訪問で西新宿の末広通りのスカートビルの中に初めて入って、こんな素敵なお店で仕事ができたらいいなというのが興味を持ったきっかけです。就職活動では安田火災を第一志望と決めていたのですが、他の損保会社の面接が先に始まったので試しに受けてみたらとんとん拍子に内定が出てしまいました。内定後は、研修所に缶詰にされて、これで決まっていいいのかと思っていたのですが、第一志望は安田火災だったはずと思い直し、安田火災に理由を説明し、志望の旨を伝えました。そうしたら明日来なさいと言われ、途中から面接に入れてもらい、結果、安田火災の内定をいただきました。安田火災は、自分が持っていたイメージと合っており、自分にはどちらかというと安田火災のほうが、相性が良く、自分らしく働けると思い、入社を決めました。当時は東京海上がライバル会社で、追いつき追い越せで、会社の勢いや雰囲気自分が合っている感じがしたのです。

—入社後の配属や営業時代の記憶に残る話がありますか？

本社の業務部門に、研修で10か月おり、1年後に福島のいわき支社という縁もゆかりもないところに配属となりました。10人位の小さい職場で、しかも地方の支社ですから、何でそんなところに自分が配属になるのだろうかということで、最初は面白くありませんでした。配属になって1年ぐらいは、会社を辞めようかなという気持ちもあったのですが、あるときに、すごく印象的な出来事がありました。店舗の火災保険の満期手続きをしたお客様がいて、建物には保険がついていたのですが、在庫の商品に保険がついていませんでした。満期手続きのときに、商品への保険を提案し2000万円ぐらいの保険をつけていただきました。契約後1か月後ぐらいでそこが全焼になり、その社長に「大場君、あのときに商品に火災保険をつけていな

聞き手…春光懇話会 浅井事務局長

かったら、うちは倒産していた。あれで助かった。」と泣きながら感謝されました。自分は軽い気持ちで手続きをしたのですが、いざ事故がおきて、自分とはとんでもない仕事をしているのだなと怖くなりました。そこからまじめに、保険のことを勉強し直したりして、自分の仕事が変わっていったような気がします。自分はそこまで真剣に、深く考えずに、何となく「保険に加入しておいたほうがいいですよ」程度にしか言っていなかった自分が恥ずかしかったのです。若い時にそういうことに立ち会えたというのは良かったと思います。

—東日本大震災の時は人事で対応したと伺いましたが？

東日本大震災のときに、人事課長をやっていました。震災後はすぐに災害対策本部が立ち上がり、震災直後のオペレーションをどうするかを議論していました。一番近いのがいわき支社、その上の相馬地区にも支社があり、ここのオペレーションを閉じるか、社員を避難させるかという議論を災害対策本部で夜中までやっていたのですが、あの辺の地理、原子力発電所と各支社の距離とかをリアルに分かっているのは私だけでした。自分が過去にいわき支社にいたのは、ひょっとしたらこのときのためだったのではないかと、神様の思召しで最初にいわき支社に配属になったのかもしれないと思いながら、今間違いない判断がちゃんとできるようにと、災害対策本部の仕事に没頭したのを覚えています。

—どのようなキャリアですか？

キャリア30年のうち、15年は人事、15年は営業を経験しています。営業も、福島、鹿児島、新宿の3か所です。人事は人の異動以外は、一通り制度設計から、処遇とか、教育等は全部やりました。人事に携わっているのが長いので、伸びる人と、伸びない人の違いについて、分析や議論をしたことがあります。自分なりの結論は、例えば課長や部長になった人で、自分は課長・部長になったし、これでもういいやという人は、そこで成長が止まるというものです。そういう人は体の動きがピタッと止まり、仕事における行動量が鈍くなるような気がします。私は、自分はこれでいいやと慢心せずに、常に成長していきたいと思っています。この世に生を授かって、自分の可能性みたいなものがある限りは、それを伸ばしていくことをずっと積み重ねてきた結果が、今に至っているのではないかなという感じがします。

—成長するための秘訣を教えてください。

上昇志向とはちょっと違って、課長だったら、もっといいマネジメントをしたいとか、部長だったら、もっと強い組織づくりができないかとか、もっと部下の力を引き出せないかとか、よ



小学生の頃 吹奏楽部 (一番手前)



ハケ岳登山

り高みを目指して人間として成長したいという、成長欲求みたいなものが根底に必要だと思いません。結果的には、その積み重ねに役割やポストがついてくるという話です。管理職になってからは、昨日より今日、今日より明日、少しでもいいマネジメントができるようになりたいという風に思っていました。社内で座談会というのをずっとやっており、1対10人くらいで社員との対話を全国で開催するのですが、就任後1.5年で160回ぐらいやっています。座談会でも、実はそんな話をしていました。

—趣味について教えてください。

40歳を過ぎて山登りに目覚めました。きっかけは、職場のメンバーに富士山に誘われて、何となしに行ったら、山の魅力に取りつかれました。電気、水などが全部ないなかで3泊4日とかで、体一つで縦走するわけです。そうすると、変な話、一個の生き物としての存在になれるのです。道に迷ったら死んでしまうし、滑落しても死んでしまうし、そういう野生の生き物、一個体になるのですがしさがみたいなものが非常に新鮮です。ただ、社長になってからは危ないので、控えています。職業人生を全うしたら、夏山中心ですが、山さえ登れていれば私は満足です。

—最後に若手へのメッセージ。

人生の最後に人が後悔するのは、ある調査によると、自分の可能性をいっぱい伸ばさずに、とことんチャレンジしなかったということ、だそうです。だから、自分がいかに成長できたかというのが自分の生きるモットーだし、可能性に自分でフタをしないで、自分がどこまで成長できるかということを追いかけてほしいと思います。自分の可能性に簡単にフタをする人が多いんですけども、人生の最後にそういう後悔をしたくないと思ったら、それをせずに自分の成長にチャレンジをしようという話を社員にはしています。



令和元年度 会員総会

9月2日(月)ホテルニューオータニ「芙蓉の間」において開催されました。今年度は会員会社131社の役員など、約220名の方々が出席されました。

ご挨拶

春光会・春光懇話会会長 JXTGホールディングス名誉顧問
高萩 光紀

高萩でございます。本日はご多用のところ、令和元年度春光懇話会総会に多数の方々にご参集賜り、誠にありがとうございます。

新元号・令和の時代に入り、4か月が経過しました。この間、我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復が続いてきましたが、ここへきて、米中貿易戦争とこれに端を発する中国経済の減速や半導体需要の調整の影響を受け、輸出や生産の一部に深刻な影響がみられるようになってきました。多くの日本企業が地球規模でサプライチェーンを展開している中では、通商問題や世界経済の動向が日本の経済に及ぼす影響も非常に心配されるところであり、引き続き十分注視する必要があると思います。

さて、この4月1日付で、海外28か所目となる「大連春光懇話会」が設立されました。私たち春光懇話会会員各社の事業も一層グローバルになっていますので、今後も海外春光懇話会拠点の増加が期待されます。

春光懇話会の活動では、新田次郎の「ある町の高い煙突」を原作にした映画が6月にロードショーを迎え、各社から多大なご協力をいただいたお陰で、このジャンルの作品としては異例の動員数を記録し、現在延長上映の映画館もあるなど大きな反響を呼んでいます。みなさまにはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

また、春光グループ企業の結婚相談所である「春光懇話会ファミリークラブ」は、年間約300回のお見合いをしており、毎年10組前後が成約しています。認知度アップが課題ですので、みなさまからもぜひ社員やご家族・ご親類のみなさまにご推奨いただきたいと思います。

ここで、会員の異動についてお伝えします。今回、日産自動車 志賀様、ニチレイ 村井様、日立金属 平木様、日立建機 石塚様の4名が春光会を退会され、JX金属 村山様、ニチレイ 大櫛様、日立金属 大森様、日立金属 佐藤様の4名を新会員としてお迎えすることとなりました。退会される4名の方には春光会の発展に多大なる貢献をいただきましたことを心から感謝申し上げます。新会員のみなさまには本会のさらなる発展にぜひともご尽力を賜りたいと思います。

次に、春光懇話会副会長の異動ですが、JXTGホールディングス 西尾様、日立造船 安藤様、日立金属 藤井様が、本日の総会をもって退任され、JXTGホールディングス 松下様、日立ハイテクノロジーズ 北山様が新たに副会長に就任されました。退任されるみなさまには春光会同様ご尽力を賜りたいと思います。

さて、みなさまに春光会・春光懇話会会長の交代をご報告させていただきたいと思います。先ほど本総会に先立ち開催されました臨時春光会において、私が会長を退任し、日立製作所名誉会長の川村様に次期会長に就任いただくことを決定致しました。川村様におかれましては、みなさまご承知のとおり、現在東京電力会長として重責を担われているところ、さらに本会会長をお願いすることとなり誠に恐縮の至りではありませんが、川村様からご快諾もいただきましたので全会一致により会長就任をお願いした次第です。川村会長の下、会員のみなさまの絶大なるご支援・ご協力を何卒お願い申し上げます。



会員総会



懇親会

私は平成27年9月に会長を拝命し、このたび任期4年を満了いたしました。この間、恙なく大任を全うすることができたのは、ひとえにみなさまのご支援の賜物であり、この場を借りて厚く御礼を申し上げる次第です。

最後になりますが、本日で参集のみなさま方のご健勝と会員各社のご繁栄をお祈り致しまして、総会ご挨拶並びに離任のご挨拶にかえさせていただきます。ありがとうございました。



乾杯
春光会会員
春光懇話会副会長
日本水産 垣添特別顧問



中締め
春光会幹事
春光懇話会副会長
損害保険ジャパン日本興亜
二宮会長

<次第>

総会 司会 浅井事務局長

1.挨拶 春光会・春光懇話会会長
JXTGホールディングス 高萩名誉顧問

2.紹介

【春光会】

会長	日立製作所	川村名誉会長
副会長	JXTGホールディングス	松下名誉顧問
新会員	JX金属	村山社長
	ニチレイ	大櫛社長
	日立金属	大森会長
	日立金属	佐藤社長

【春光懇話会】

会長	日立製作所	川村名誉会長
副会長	JXTGホールディングス	松下名誉顧問
	日立ハイテクノロジーズ	北山会長

【地域春光懇話会会長】

秋田春光懇話会	秋田日産自動車	三浦会長
茨城春光懇話会	センター電機	三代社長
群馬春光懇話会	GNホールディングス	天野会長
埼玉春光懇話会	UDトラック	櫻井VP
千葉日晶会	福井電機	村杉社長
信州春光懇話会	マナテック	堀江会長
大阪春光懇話会	日立造船	谷所会長兼社長

懇親会

3.乾杯 春光会会員・春光懇話会副会長
日本水産 垣添特別顧問

4.中締め 春光会幹事・春光懇話会副会長
損害保険ジャパン日本興亜 二宮会長

春光懇話会役員 2019年9月2日改選



会長 川村 隆
日立製作所名誉会長



副会長 垣添 直也
日本水産特別顧問



副会長 松下 功夫
JXTGホールディングス
名誉顧問



副会長 北山 隆一
日立ハイテクノロジーズ
会長



副会長 二宮 雅也
損害保険ジャパン日本興亜
会長



副会長 三浦 和哉
日立キャピタル相談役



副会長 西川 廣人
日産自動車取締役



副会長 古川 実
日立造船相談役
(19.12.1就任)



副会長 大谷 邦夫
ニチレイ会長
(19.12.1就任)

春光会会員名簿 2019年11月1日現在

会社名	役職	氏名
(株)日立製作所	会長 社長 ☆名誉相談役 ◎名誉会長	中西 宏明 東原 敏昭 庄山 悦彦 川村 隆
日産化学(株)	社長	木下 小次郎
SOMPOホールディングス(株)	社長 顧問	櫻田 謙悟 高橋 薫
損害保険ジャパン日本興亜(株)	◇会長 社長	二宮 雅也 西澤 敬二
日産自動車(株)	○取締役 名誉顧問	西川 廣人 小枝 至
JXTGホールディングス(株)	社長 特別理事 特別理事 名誉顧問 名誉顧問 ○名誉顧問 名誉顧問	杉森 務 木村 康 内田 幸雄 西尾 進路 高萩 光紀 松下 功夫 文 明
JXTGエネルギー(株)	社長	大田 勝幸
JX石油開発(株)	社長	細井 裕嗣
JX金属(株)	社長 特別理事	村山 誠一 大井 滋
日本水産(株)	社長 相談役 特別顧問	的埜 明世 細見 典男 垣添 直也
日油(株)	会長 社長 相談役	小林 明治 宮道 建臣 大池 弘一
(株)ニチレイ	会長 社長	大谷 邦夫 大櫛 顕也
日立造船(株)	会長兼社長 相談役	谷所 敬 古川 実
日立金属(株)	会長 社長	大森 紳一郎 佐藤 光司
日立化成(株)	会長 社長 名誉相談役	田中 一寿 丸山 功 内ヶ崎 功
UDトラックス(株)	社長	酒巻 孝光
日立建機(株)	社長 相談役 名誉相談役	平野 耕太郎 辻本 雄一 木川 理二郎
日立キャピタル(株)	社長 ◇相談役	川部 誠治 三浦 和哉
(株)日立ハイテクノロジーズ	会長 社長 名誉相談役 名誉相談役	北山 隆一 宮崎 正啓 大林 秀仁 久田 眞佐男
日産車体(株)	社長 名誉顧問	木村 昌平 渡辺 義章
(株)日立物流	社長 名誉相談役	中谷 康夫 鈴木 登夫
SOMPOひまわり生命保険(株)	社長	大場 康弘
(株)NIPPO	会長 社長 相談役	岩田 裕美 吉川 芳和 水島 和紀

[注] ☆顧問 ◎会長 ○副会長 ◇幹事

事業協議会会員名簿 2019年11月1日現在

会社名	会員名
(株)日立製作所	代表執行役執行役専務 津田 義孝 執行役常務 内藤 理
日産化学(株)	取締役副社長 宮崎 純一 執行役員 人事部長 吉田 洋憲
損害保険ジャパン日本興亜(株)	専務執行役員 桑田 憲吾 常務執行役員 青木 潔
日産自動車(株)	顧問 渉外担当役員 今津 英敏 理事 渉外担当役員 後藤 収
JXTGホールディングス(株)	取締役常務執行役員 安達 博治 取締役常務執行役員 田口 聡
JXTGエネルギー(株)	取締役常務執行役員 横田 宏幸 取締役常務執行役員 小西 徹
JX石油開発(株)	取締役副社長執行役員 大橋 秀俊 取締役常務執行役員 辰巳 久雄
JX金属(株)	取締役常務執行役員 太田 達二 執行役員 黒岩 源洋
日本水産(株)	取締役常務執行役員 山本 晋也 執行役員 黒田 哲弘
日油(株)	取締役兼常務執行役員 坂橋 秀明 常務執行役員 美代 眞伸
(株)ニチレイ	取締役執行役員 金子 義史 取締役執行役員 竹永 雅彦
日立造船(株)	代表取締役副社長 三野 禎男 常務取締役 芝山 直
日立金属(株)	執行役常務 田宮 直彦 執行役 増田 久己
日立化成(株)	執行役 石井 義人 執行役 高松 明彦
UDトラックス(株)	バイスプレジデント 櫻井 浩司 バイスプレジデント 金丸 隆宏
日立建機(株)	代表執行役執行役員 住岡 浩二 執行役常務 豊島 聖史
日立キャピタル(株)	執行役専務 白井 千尋 執行役常務 大橋 芳和
(株)日立ハイテクノロジーズ	代表執行役 執行役員副社長 佐藤 真司 執行役常務 田嶋 浩
日産車体(株)	取締役 専務執行役員 小滝 晋 常務執行役員 牛込 正明
(株)日立物流	執行役専務 佐藤 清輝 執行役常務 萩原 靖
SOMPOひまわり生命保険(株)	取締役常務執行役員 近藤 充弘 執行役員 中村 成志
(株)NIPPO	代表取締役 執行役員副社長 高橋 章次 取締役専務執行役員 宮崎 匡弘

元気な地域
地域春光懇話会紹介

地域春光懇話会は国内に52か所、海外に28か所。地域の特長を生かし、幅広い活動を行っています。各地域の若手の方にも登場いただき、懇話会活動、地域自慢などご紹介します。

広東春光懇話会

事務局 日本財産保険(中国)有限公司 広東支店
設立年 2005(平成17)年 会員会社数 27社

広東春光懇話会は、総会、例会、懇親ゴルフコンペ、香港春光懇話会合同ゴルフコンペと年間を通じて会員のみなさまの交流を図る活動を行なっています。総会では毎年会員企業にご協力いただき、会社や工場見学を実施しています。他企業の見学は参考になることが多く、取り組み等を参考にされ改善を図るなど、会員企業間で活発な情報交換を進めています。懇親会では「品行方正な広東春光懇話会」を合言葉に、和気あいあいとお酒を楽しみながら交流を図っております。



活動内容!!

地域自慢!!

◀ゴルフコンペ、見学会などさまざまな活動を実施

日本財産保険(中国)有限公司 広東支店
家亀克郎さんに執筆いただきました。



▲本場の広東料理をぜひ!

会長から一言

広東省は温暖な気候で一年中ゴルフが楽しめ、日本人の口に合う広東料理が堪能できる土地柄です。当会ではこのような恵まれた環境で、会員相互の親睦を深めるために、日々「芝遊び」と「飲み」に研鑽(?)を重ねております。日立解決(中国)有限公司 广州分公司 総経理 山本 健治

ミャンマー春光懇話会

事務局 損害保険ジャパン日本興亜ヤンゴン駐在員事務所
設立年 2014(平成26)年 会員会社数 12社

ミャンマー春光懇話会では、総会、ゴルフコンペ、勉強会、忘年会等のイベントで年間を通じて会員のみなさまの交流を図るべく活動を行っています。イベント後には必ず懇親会を設けており、毎回、和気あいあいとした雰囲気の中で盛り上がりを見せています。雰囲気の良いミャンマー春光懇話会の特徴であり、これからも様々なイベントを通じてさらなる交流を図ってまいります。



活動内容!!

地域自慢!!

山積みで販売されているマンゴー

損害保険ジャパン 日本興亜 安藤高志さんに執筆いただきました。



会長から一言

「アジアのラストフロンティア」と呼ばれ、近年、多くの企業が進出しているミャンマー。ゆっくりにありますが、これからのさらなる経済発展を感じながら、ミャンマー春光懇話会の活動を一層盛り上げていきたいと考えています。

Hitachi Elevator (Myanmar) Co., Ltd Managing Director 徳春 彦光

新製品・新商品 紹介

日立ハイテクノロジーズ

卓上走査電子顕微鏡 (SEM) の世界を広げ、さらなるイノベーション創出をお手伝いします

当社が製造・販売する卓上顕微鏡「Miniscope®」は、バイオテクノロジー分野や材料分野をはじめ、あらゆる分野で活用されている走査電子顕微鏡 (SEM) を卓上設置が可能なサイズに小型化した製品です。小型化により、通常の SEM に比べ活用用途が大幅に広がり、研究施設のみならず工場の製造現場などで製造・品質管理用途として広く活用されています。

「もっと高画質に、もっと使いやすく、見やすく。」をコンセプトに観察ニーズの“もっと”にお応えする最新テクノロジーを搭載した TM4000 シリーズでは、試料観察時の操作から観察後の画像確認、資料作成までの一連の作業を効率化・簡易化します。



9月に販売が開始されたTM4000 II / TM4000Plus II
 大きさ・質量：本体：330 (幅) × 614 (奥行) × 547 (高さ) mm
 52kg (モータードライブステーション付)

<主な特長>

●試料挿入から観察完了まで3分

Miniscope®は、装置への試料挿入から目的箇所の観察までを最短3分で実現することができます。

真空排気中も、試料室内に内蔵された光学カメラで試料全体を撮影することができるため、モニターで試料を見ながら顕微鏡観察の視野探しをすることができます。真空排気が完了し、観察準備が整い次第、目的箇所の観察・撮影が可能です。試料の前処理をすることなく観察でき、低倍率のカラー画面から視野探しを行なえることから、SEMに慣れていない方でも簡単に操作・観察することが可能です。

●レポート作成を簡易化

インターフェースをMicrosoft社のWord®, Excel®, PowerPoint®に対応させました。顕微鏡画像を挿入するフォーマットも用意していますので、レポート作成業務も容易です。

●観察条件に応じた装置設定を実現

試料室内の低真空度および加速電圧をそれぞれ複数種類用意することで、状況に応じた設定のもとで観察が可能です。

2019年9月には、TM4000II/TM4000PlusIIの販売も開始しました。加速電圧が20kVまで対応可能になりました。またMulti Zigzag (連続視野取込機能：オプション) により、さらに広範囲なSEM観察を実現します。

*1 視野探し：

試料のどの位置を観察しているか確認し、観察したい試料箇所を探す行為。一般的に電子顕微鏡は、倍率が高いため、一部観察画像より全体像を把握する必要がある。

* 「Miniscope®」は、日立ハイテクの日本国内における登録商標です。

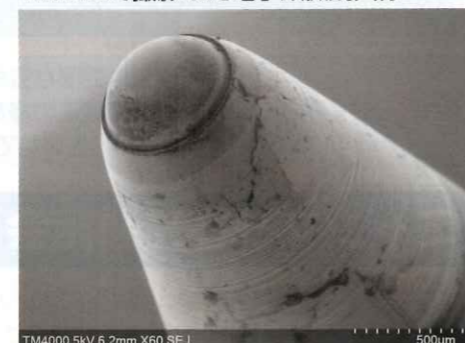
* 「Microsoft®、Word®, Excel®, Power point®」は、Microsoft社の日本国内および海外における登録商標です。

◆卓上顕微鏡「Miniscope®」に関する詳しい情報は

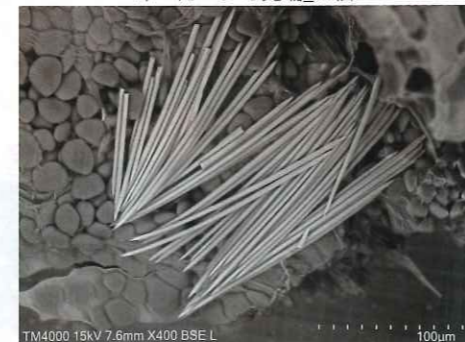
<https://www.hitachi-hightech.com/jp/science/products/microscopes/electron-microscope/tabletop-microscopes/>

問合先 お客様サポートセンター ☎03(3504)6111

TM4000で撮影した電子顕微鏡画像



ボールペンの先端_60倍



長いも_400倍



腐食銅_3000倍

日産自動車

世界初の先進運転支援技術「プロパイロット 2.0」を搭載した新型「スカイライン」を発売

1957年の初代誕生から62年を迎えた「スカイライン」は、日本の多くのお客さまから「憧れのクルマ」として愛されてきた日産を代表するプレミアムスポーツセダンです。

常にその時代の最先端の技術を採用し、進化し続けてきたスカイラインが、このたび、世界初の先進運転支援技術「プロパイロット 2.0」の他、お客さまの安心、安全な運転、そして運転の喜びを実現する数多くの先進技術を搭載し、今年9月より全国一斉に発売しました。



新型「スカイライン」

●先進運転支援技術「プロパイロット 2.0」をハイブリッド車に標準装備

高速道路のナビ連動ルート走行と同一車線でのハンズオフ機能を同時採用。ドライバーの運転支援をさらに高めることで、安全で新しいドライビングプレジャーを実現しました。

●3.0L V6 ツインターボエンジンを新搭載

圧倒的なパフォーマンスと研ぎ澄まされたレスポンスを両立した「3.0L V6 ツインターボエンジン」をガソリン車に新搭載。史上最高の400馬力を超える最高出力を実現した400Rもラインアップしました。

また、新たなNissanConnectサービスにより“クルマと社会がつながる”多彩なサービスを提供しています。



プロパイロット 2.0の運転情報を投影するカラーヘッドアップディスプレイ



同一車線内でのハンズオフ機能



全方位運転支援技術



新型「スカイライン」の詳細情報はこちらから。

WEBカタログ：<https://www3.nissan.co.jp/vehicles/new/skyline.html>

問合先 お客様相談室 ☎0120-315-232

—事故ゼロ社会をめざして— ドライバー任せにしないIoTソリューション

当社はSSCV (Smart & Safety Connected Vehicle) スマート安全運行管理システムをリリースします。現在、物流業界では人手不足から業務過多によるドライバーの疲労の蓄積や高齢化などが進み、体調不良に起因する運行中の事故が増えています。これまでドライバーの疲労度を測るには、主に運行前点呼時の体温測定や血圧測定、ドライバーの自己申告などで判断しており、それらのデータをもとに客観的に判断する基準がありませんでした。こうした部分を改善しようと、理化学研究所、関西福祉科学大学、日立製作所、日立キャピタルオートリースとともに、産官学連携のオープンイノベーションとしての共同研究を2018年にスタートし、運行前のデータをクラウドに連携させドライバーの生体情報を集約するシステムなどを構築しました。これによりドライバーの体調不良を確認でき、事故を未然に防ぐことが可能になります。また、運行するトラックに搭載した各種デバイスから、車の挙動などの運転行動情報を総合的にAIで判定し、事故の危険性のある運転は管理者とドライバーへ注意喚起を促すことで、運行中の事故に対しても未然に予知・抑止をします。運行後には1日の振り返りを行う安全教育や評価制度にも活用ができる、トータルソリューションとして提供いたします。SSCVを広く展開し、「安全、環境に配慮した社会」「事故ゼロ社会」の実現をめざしていきます。



安全 / 体調管理 / 運行管理 / コスト削減 / 技能指導 / 効率化...
実現するトータルソリューション

SSCV

Smart & Safety Connected Vehicle
スマート安全運行管理システム

トラックにARアプリを起動したスマートフォンをかざしてみてください
(前面に、アプリの使用法が紹介されています)

SSCVによる安全教育制度

日々の指導

- 運行管理者: 短期コーチング (アラートに起因する運行状況の見える化、既付きを繰り返す特有傾向の検知、自分ごとで考えている、経験者の強化、エビデンスに基づいたフィードバック)
- ドライバー: モニタリング (セルフケア、セルフケアマインドの醸成)

ナレッジの活用
個人面談 職場懇談会 (経験者-形式知-集合知へ)

中長期の教育

事故ゼロ社会をめざして
—ドライバー任せにしないIoTソリューション—

健康: 体調の把握、労働環境の改善、労働管理の徹底

安全: 会社組織での安全確認の実行、安全種別対応、安全教育のPDCAサイクル構築、保険料削減

運転技能: 運行情報のデジタル化・見える化、適切なコーチングによる運転技能の向上

スマートフォンアプリで動画もご覧いただけます

- スマートフォンでQRコードリーダーを立ち上げ、無料アプリ「COCOAR2」をダウンロードしてください。
- アプリを起動してください。
- 右のアイコンがついているイラスト・画像をかざしてください。スクリーンが完了すると動画が流れます。

システムに関するお問い合わせ、ご不明な点はお気軽にお問い合わせください

株式会社 日立物流 上野オフィス
〒170-8501 東京都文京区上野3-5-1 JP170上野オフィスビル4階
TEL 03-5830-3415

メールでのお問い合わせ
E-mail: sscv@hitachitransport.com

SSCV サイト
SSCV 検索

特集 わが社の自慢のカレンダー

コーポレートカレンダーには、会社の持つ考え方やイメージが、見た目からも伝わってきます。実際に使ってみると、その工夫の多さに目からウロコのこと。今回はコーポレートカレンダーの魅力に迫る特集で、春光懇話会会員各社のカレンダーから、その一部を紹介いたします。

日立金属

「機能性」の追求

日立金属カレンダーのコンセプトは「至高の機能性」を追求したことです。具体的には、美しい絵柄や写真は一切使用せず、書き込めるスペースを最大限に確保したデザインとしています。そのため、曜日・祝日のみの記載（六曜は非掲載）とし、鉛筆でも気軽に書き込めるよう、汚れに比較的強い素材を選んでいきます。

一番の「自慢」は、環境意識にこだわりを込めている点で、具体的には、金具の未使用、再生紙の活用、エコインキでの印刷、水を使わないプリント処理、さらにはカーボン・オフセットへの配慮など、限られた予算内で持続可能な社会の発展に貢献できる試みを実践しています。

文：コミュニケーション部

また、機能性をアピールした赤・青・黄の3原色を基調とした色使いをしていること、知らない人が見てもすぐわかるように「Materials Mag!c」のロゴを全面的に押し出して、日立金属ブランドが目立つようにデザインしています。ほかにはあまり見られない珍しい点は、月曜日始まりの暦となっており、営業日を前面に出すことで、仕事への「機能性」を追い求めた仕様としていることです。

◆日立金属カレンダー 概要

- 発行部数...14,000部
- 大きさ...B3
- 色使い...機能性を訴求した3原色基調
- 材質...各種環境配慮仕様 (金具未使用、再生紙・エコインキ使用、水なし印刷、カーボン・オフセット)

HITACHI 日立金属株式会社

2019 CALENDAR

Materials Mag!c

環境配慮の印刷・再生紙・カーボン・オフセット

日立金属株式会社

12月 2018 December 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

2019 January 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
31	1 祝	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14 祝	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

Materials Mag!c

日立化成グループ全体でスポーツ活動を応援

日立化成のカレンダーでは、当社のスポーツ活動を取り上げています。2019年のカレンダーには、当社実業団の卓球部とバドミントン部に加え、陸上競技やトライアスロンで個人選手として活動している当社従業員の写真も掲載しています。

このカレンダーは、各部が活動の拠点とする事業所にとどまらず、日立化成グループ全体で選手を応援しようとのねらいで、2010年に制作が始まりました。グループ会社の日立化成ビジネスサービスが制作を担当しており、壁掛けタイプと卓上タイプの2種類があります。これらは非売品ですが、当社のグループ会社や事業所、卓球部やバドミントン部の後援会会員に配布され、グループ全体での応援ムードの向上に貢献しています。

当社の卓球部は、日本実業団卓球リーグ1部に所属しており、昨年は内閣総理大臣杯平成30年度日本卓球リーグプレーオフ・JTTLファイナル4で準優勝するなどの成績を収めています。また2012年より石川佳純選手を日本卓球リーグのゴールド選手*として起用し、当社卓球部の一員として試合に出場いただいています。

バドミントン部は、6月に行われた第69回全日本実業団バドミントン選手権大会において、昨年に続くベスト8となるなど、2018年度以来となるS/Jリーグ(旧1部リーグ)への昇格をめざして練習に励んでいます。

試合会場などで選手を見かけた際には、ぜひ温かい声援をお願いいたします。

文：峯田知美



*ゴールド制(レンタル制)：日本卓球リーグ実業団連盟の特別ルール。(財)日本卓球協会のナショナルチーム(NT)およびNT候補選手(ただし、高校生以下を除く)を対象に、平成21年度後期大会より、日本人選手1名に限り、他所属からレンタルすることができます。ゴールド選手は、日本卓球リーグの前期大会・後期大会・JTTLファイナル4のみに出場することができます。



銅の妖精 カッパーくん卓上カレンダー

JX金属では、当社のPR大使である「カッパーくん」の卓上カレンダーを皆さまにお届けしています。様々なカッパーくんグッズの中でも特に人気のある卓上カレンダーは、2018年に誕生しました。その歴史はまだ2年と浅いものの、志向を凝らした内容で好評を博しています。

初年度は、銅の豆知識を12回にわたって紹介しました。私たちの周りには色々なところに銅が使われていて、その用途は実に多種多様です。銅の豆知識などに加え、裏面では銅の特性をカッパーくん自身になぞらえてユーモラスに紹介しました。

3回目となる2020年のカレンダーのテーマは、やはり『TOKYO2020オリンピック・パラリンピック』でしょう！カッパーくんがいろいろなオリンピック・パラリンピック競技に挑戦します。

カッパーくんの卓上カレンダーは、従業員以外にも取引先や関係会社へお配りしています。毎回追加注文が殺到するその要因は、充実した内容もさることながら、カッパーくんが毎月見せてくれる様々な愛らしい姿や表情がかもしれません。

さて、来年はどんなカッパーくんに出会えるのでしょうか。乞うご期待！！

文：辻村千聡



2018年カレンダー-2月

翌年は、Journey編と称しカッパーくんが日本を飛び出して「銅発見ツアー」へ出かけました。日本を出発したカッパーくんは世界11か国を旅し、その国にまつわる銅の話を披露しました。



2019年カレンダー表紙

〈カッパーくん卓上カレンダープレゼントのお知らせ〉
 JX金属オリジナルカレンダー「カッパーくん卓上カレンダー」を20名の方にプレゼントいたします。
応募方法：件名を「カッパーくん卓上カレンダーの応募について」として、下記アドレスまでご応募ください。
 suishin.csr@nmm.jx-group.co.jp
 締切：2019年12月10日(木) 必着



ひまわり村のポンポンカレンダー

当社では、「ポンポン」というキャラクターの卓上カレンダーを、お客さまや保険代理店用に制作しています。カレンダーは見やすさや書きやすさを重視するだけでなく、「かわいさ」も重視しています。カレンダーにはシールも付いており、かわいさと実用性を備えたものとなっており、お客さまや保険代理店からもご好評をいただいております。

ポンポンはひまわり村でパパポンやママポンといった家族と暮らしており、ひまわり村には多くの仲間たちがいます。カレンダーでは、ひまわり村の家族や仲間たちとの暮らしを、季節ごとに描いています。毎月のポンポンの暮らしぶりが垣間見えることで、見る人に「癒し」を提供しています。ポンポンは、お客さまへの感謝の気持ちと、今後もお客さまから末永くご愛顧いただける生命保険会社を目指していきたいという思いから、会社設立25年を記念して2007年8月に誕生しました。ポンポンはタヌキなのですが、他（タ）を抜き（ヌキ）んで「お客さまに末永く愛されるキャラクター」になってほしいという願いが込められています。来年のカレンダーでは、今年から協賛を開始した、パラカヌーとパラサイクリングについても用意しています。ポンポンやひまわり村の仲間がパラカヌー・パラサイクリングを体験していることを描くことで、パラカヌー・パラサイクリングを応援しています。

当社は、令和元年10月に「損保ジャパン日本興亜ひまわり生命」から「SOMPOひまわり生命」に社名変更しました。新たな時代を、ポンポンのカレンダーと一緒に迎え、新生SOMPOひまわり生命は「みんなの笑顔をももるぼん♪」。

文：経営企画部 広報グループ



2020年カレンダー8月（サイクリング）



2020年カレンダー9月（カヌー）



2020年カレンダー表紙

“花”と“道”と“二人”

ニチレイグループでは全体のカレンダーとは別に、低温物流事業を行っているニチレイロジグループが従業員向けのCI活動もかねて、毎年「壁掛けカレンダー」と「卓上カレンダー」の2種類を制作しています。「壁掛けカレンダー」のテーマは2つあります。1つのテーマは“道”です。これは物流の本質である「つなげる」こと、そして常に時代の一步先を見据え歩んでいこうという企業姿勢を表現しています。もう1つのテーマは“花”です。ニチレイロジグループでは女性活躍推進活動の一つとして、女性社員が自身の能力を最大限に引き出して活躍することを「花が咲く」ことに例えた“咲カセル ロジ女フォーラム”を開催しています。“咲カセル”という意識をさらに醸成していこうというメッセージを込めて、昨年からカレンダーのテーマに追加しました。これらのテーマに沿った写真を毎年従業員・OBから公募していることも特徴です。公募とはいえ写真のレベルは高いとの評判をいただいています。

一方「卓上カレンダー」には、ニチレイロジグループのマスコットキャラクターであるレイちゃんとしろじくんの2人が毎月いろいろなことにチャレンジしているかわいいイラストがついています。デスクに置いて気軽に楽しんでいただくとともに、キャラクターに親しんでいただきたいと思います。



卓上カレンダー表紙



卓上カレンダー1月

機能の点でも、背面にポケットが付いており、メモや付箋などをしまうことができ便利と、お客様や従業員にとっても好評です。

文：ニチレイロジグループ本社 経営企画部



壁掛けカレンダー“花”4月



壁掛けカレンダー“道”6月

くらしと日立造船をつなぐ

当社は毎秋、壁掛けタイプと卓上タイプのカレンダーを発行しています。お客さまをはじめ関係者のみなさまに年末のご挨拶とともにお渡しするのが通例です。当社グループの製品はみなさまの日常生活とは馴染みが薄いものがほとんどかもしれませんが、そのような当社にとってカレンダーは、私たちの製品が、人々のくらしに貢献していることをお伝えする手段の一つになっています。

当社グループは2017年度に長期ビジョン「Hitz 2030 Vision」と中期経営計画「Change & Growth」を策定しました。そのなかでコア事業領域と定めたのが「エネルギー事業」と「水事業」です。この2つのコア事業領域にフォーカスし、カレンダーのテーマも2018年版は「くらしと水をつなぐ」、2019年版は「くらしとエネルギーをつなぐ」としました。

壁掛けタイプは1見開きで2か月分、上ページには当社製品が納入された近隣風景画、下ページは日付と納入製品の画で構成。卓上タイプは1枚で1か月分、風景画もしくは納入製品の画と、日付で構成しています。やさしいタッチと色使いが印象的な絵は、風景画家として人気が高い安田泰幸氏によるオリジナル作品です。納入製品とその地域を合わせてお見せすることで、当社グループが「循環型社会実現に向けたソリューションプロバイダー」として、自然と未来をつなぎ、日々技術開発に取り組むイメージを持っていただけたらと考えています。

2020年版も今年秋に発行予定です。テーマは「グローバル展開する日立造船」。当社グループの長期ビジョンと、SDGs（持続可能な開発目標）の達成目標年である2030年に向けて、世界各地で環境問題の解決策を提供する企業であることを訴求します。みなさまのくらしと当社をつなぐツールの一つとして、今後もカレンダーを活用していきたいと思ひます。

文：木村 涼



2018年版カレンダー（壁掛けタイプ）表紙



2018年版カレンダー（壁掛けタイプ）



2019年版カレンダー（卓上タイプ）



2019年版カレンダー（壁掛けタイプ）



クルマで出かけてみませんか

日産が提唱する「NISSAN INTELLIGENT MOBILITY」。この取り組みを通して日産はクルマを未来へと導きます。そして最先端の技術でクルマをもっとワクワクする存在に進化させていきます。

日本には様々な所で様々な最新技術が使われています。環境に貢献する技術、安全性を高める技術、利便性を高める技術など。

そんな日本が誇る技術が使われている場所を日産のクルマで巡るカレンダーを制作しました。

2018年は「はじめてが生まれた場所」をテーマに、その技術が使われた、または生み出された場所を巡り、2019年は「1」のある風景」をテーマに、日本各地に点在する「Intelligent」な発想を技術に取り入れた建造物や場所を巡る内容としました。

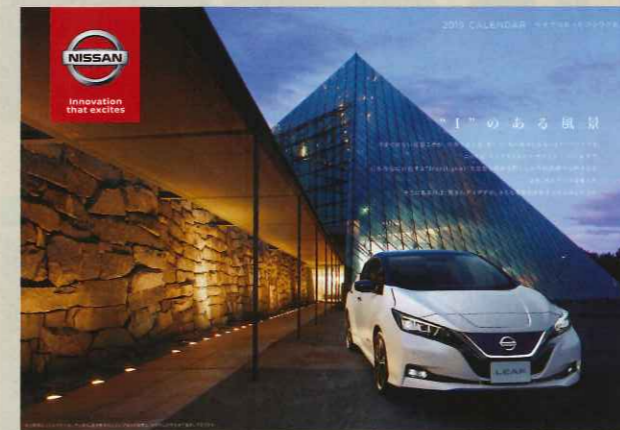
本来お客さまには最新のクルマを見ていただきたいところですが、あくまでもカレンダーということで背景にも非常にこだわって制作しています。一ヶ月同じ絵柄を見ていただくことになるので、なるべ

く飽き来ず、それでいてテーマをしっかり感じていただけるよう細部まで作りこんでいます。クルマがメインになりつつも、背景の建物も同様に主役になるようバランスを考えています。

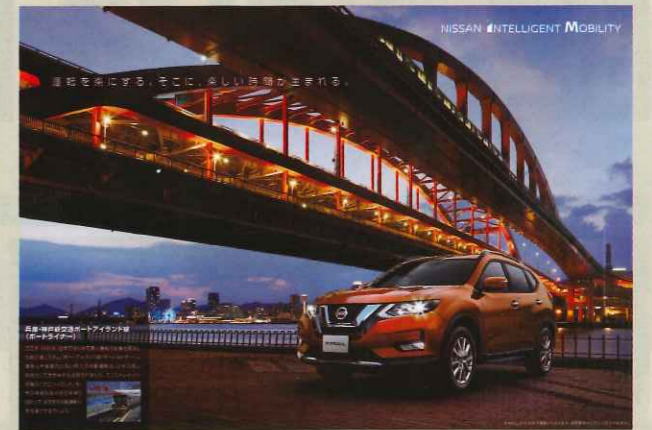
また当社は壁掛けカレンダーと卓上カレンダーの他にオリジナルキャラクターのNISSANベアがかわいい「ワクワク ニッサンタウン」カレンダーもご用意しています。一年を通してワクワクした気持ちにさせる、大人はもちろん、お子様にも楽しんでいただけるものになっています。この3種のカレンダーを合計すると発行部数は数百万部に達し、ご好評をいただいております。

私たちの作ったカレンダーを見て、「ここに行きたい！」という気持ちになり、ぜひ日産のクルマでお出掛けしていただければと思います。

文：ブランド&メディア戦略部



2019年カレンダー



2018年カレンダー



ワクワクカレンダー

営業部会だより

詳しくは営業部会HPをご覧ください
<http://www.shunko.jp/eigyo/eigyobukaitop.html>

2019年10月～12月 第20回 春光懇話会ビジネス交流強化キャンペーン展開中

営業部会主催のキャンペーンは今年で20回の節目を迎えることになりました。長年のご支援に深く感謝申し上げます。

さて、この20回を機として、また春光懇話会会員企業間のビジネス交流を一層図るため、名称を「春光懇話会ビジネス交流強化キャンペーン」としました。

引き続き、会員会社の従業員・ご家族のみならずにお買得商品をご提供させていただくとともに会員間のビジネス交流に取り組んで参ります。

社内配布されましたパンフレットやホームページをお確かめの上、ご用命ください。また、企業向け商品、サービスも併せて展開します。担当者が貴社訪問の際には、ご高配のほどお願い申し上げます。

キャンペーン決起大会 9月12日



決起大会第1部

ご挨拶
朝長キャンペーン実行委員長

全員確認事項
曾禰副部長

司会
小石原幹事



決起大会第2部

津田部会長
挨拶・乾杯

愛澤副部長
中締め

事務局挨拶
浅井事務局長

事務局連絡
横井事務局次長

各社PR・展示即売会



ミニ展示即売会



10/29 JXTGエネルギー

11/7 サッポロビール

11/12 日立ソリューションズ

営業部会 企業見学会～UDトラックを訪ねて



工場製造ライン (写真提供: UDトラック)

2019年6月に営業部会の第2グループ・第6グループが、UDトラックを訪見し、UDエクスペリエンスセンターと工場製造ラインを見学しました。

また、大型トラック試乗もさせていただき、有意義な体験となりました。

プレゼンテーションコーナーにて、櫻井バイスプレジデント、石田マネージャーよりUDエクスペリエンスセンターの概要を説明いただきました。

工場製造ラインの見学では、各担当者から人に優しい工夫をされたモノづくりや厳格な品質管理について、丁寧に説明いただきました。



プレゼンテーションコーナーでの概要説明



第6グループ参加者 (UDエクスペリエンスセンター内、昔のボンネットトラックを囲んで)



第2グループ参加者 (オーバルコース試乗車の前で)

日立製作所が3連覇 第60回 春光懇話会ゴルフ選手権

8月31日(土)、小山ゴルフクラブにおいて第60回春光懇話会ゴルフ選手権が開催されました。本選手権は、スクラッチ競技の会社対抗団体戦(4名/社)で、11社が出場し熱戦が繰り広げられました。結果は、日立製作所が、精鋭選手の活躍(個人成績は優勝、3位、9位を獲得)により、見事、3連覇を飾りました。準優勝は前回第4位のJX金属。第3位には前回第6位の損害保険ジャパン日本興亜が入りました。入賞スコアは何れも昨年を上回り、レベルが高く大いに盛り上がった大会となって、来年以降もさらなる熱戦が期待されます。

優勝	日立製作所	325ストローク
準優勝	JX金属	337ストローク
第3位	損害保険ジャパン日本興亜	342ストローク



優勝の日立製作所チームと高萩会長(中央)



“そろそろ結婚を…”とお考えのみなさま
 “結婚適齢のご家族”をお持ちのみなさま
“婚活”はじめませんか！

出会いはありますか？

「いずれは」も含めると、独身男女の95%以上の方が「良い相手がいれば、結婚したい」と答えています。しかし、年々、結婚平均年齢は高まっており、非婚比率も増え続けています。非婚でいる理由の第1位は「出会いがない」「相手に巡り合えない」です。

今の世の中、じっと待っていても、良いパートナーに巡り合う機会は、なかなか無いものです。

- ・春光懇話会ファミリークラブの入会金は2年間で1万円です。成約時お1人7万円。それ以外の費用は一切ありません。
- ・5人のカウンセラーが親身に、会員のみなさまをフォローします。
- ・年間約300組のお見合いがされています。



当クラブの特徴

1. 「安心です」会員を春光懇話会会員会社に関わる方に限っています。
2. 「プライバシーは厳守されます」会社にお知らせすることはありません。
3. 「入会金は1万円です」2年間有効。成約時お1人7万円、この他費用はかかりません。そろそろ結婚をとお考えのみなさま、今すぐ行動してください。
4. 「入会手続きは簡単」☎03(3344)0410(ヨイエン)または <http://www.shunko.jp/family/family.html> にアクセスし資料請求・来所予約をしてください。

“見学のみ、説明を聞くだけ”も大歓迎です。
 グループのみなさまに、もっともっとあたり前の
 ように活用していただきたいと願っています。



スタートはいつも出会いから！

ファミリークラブはこんな所です。

京王プラザホテル ファミリークラブ入口 面談室 サロン

春光懇話会ファミリークラブ

〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1 京王プラザホテル南館10階1050
 TEL&FAX 03(3344)0410 family@mbr.sphere.ne.jp
 受付時間 10:00~17:00 <http://www.shunko.jp/family/family.html>
 定休日 火曜日・ウィークデーの祝日(土・日は常時オープン)



事業所見学会 内海造船 瀬戸田工場を訪ねて

会報編集委員では、9月6日(金)に2019年度事業所見学会を実施しました。今回は、日立造船のご協力を頂き、同社の系列会社である広島県尾道市の内海造船瀬戸田工場を見学しました。編集委員、事務局合わせ総勢12名での開催となりました。

内海造船株式会社は、1944年に瀬戸田造船(株)として設立され、その後、数社との合併を経て1972年に現在の商号となりました。2005年に因島工場が誕生、因島工場と瀬戸田工場での新造船と改修船の営業体制が確立されました。

瀬戸田工場は、四季を通じて温暖で船舶の出入りや係留に向けた、しまなみ海道のほぼ中心にある生口島に立地しています。高度な研究・開発、そして経験豊かな技術により、フェリー、貨物船、コンテナ船や捕鯨船などプロダクトミックスといわれる多種多様な船舶を造ることが可能な強みを生かして、船舶造修としては日本のみならず世界屈指の企業となっています。

概要説明をお聞きしたあと、徒歩で工場内の見学をさせていただきました。船舶は、設計、内業、外業、進水、艤装(内装)、海上試運転の行程を経て船主に引き渡されます。今回は内業と外業の行程を案内いただきました。

工場は島に位置するため、大きな部材は船で搬入しています。舳(バージ)に載せた鋼材の大きなプレートをクレーンに装着された電気磁石で吸着し、島側へ搬入しています。内業と呼ばれる工程では、鉄板に機械と人の手でマークを施し、プラズマで切断して必要なパーツを作り、それらをブロックに組み立て、必要な塗装を行います。切断の段階では一枚の鉄板をいかに無駄なく使うかがポイントとなります。スムーズに作業を進めるため、全ての鋼材はマークを元に使う順番ごとに積み重ねられて出入庫されています。また、船舶には曲線の部分が多く、プレス機による加工作業以降は、焼いては水で冷やして曲げる作業を繰り返しながら仕上げていくため、まさに豊富な経験と技が必要とされ、70歳の匠も現役で活躍中だそうです。

船台でブロックを合わせて船体を作る作業が外業です。

精密に作られているブロックですが、実際に組み立てる段階では微妙なズレが生じます。これらを隙間なくつなぎ合わせるため、ここでも匠の組立溶接技術が発揮されています。外業作業の場では、スクリューや、船を安定的に推進させるフィンスタビライザーなど、普段は見られない部分も目の当たりにできました。

外業が終わると進水式が行われるのですが、ここではローラー上を滑らせののではなく、ワックス(以前は鯨油石鹸)を塗った木の上を滑らせる昔ながらの方法も行われています。今は日本でも4か所しか行っていない方法ですが、静かに船が海へと入って行くのを好む船主が多く、何度見ても感動そのものだとお話しさせていただきました。

1船台で年間に4隻程度しか建造しないということですが、艤装中の大型船をバックにした記念写真は参加者の宝物となりました。

設計から2~3年かけ、一隻一隻をオーダーメイドで建造する新造船。匠の技や感動的な進水式といったお話の中に、実績が示す安定した技術と品質への誇りを感じました。また、見学の合間に、休日の島の暮らしについても伺うことができ、人と企業が営む豊かな毎日が羨ましく思えました。内海造船の会社案内には、瀬戸内の美しい自然環境や文化遺産を紹介するページがあり、地元でのつながりをとても大切にしていることが伝わってきます。同社では、祖父、父、息子と代々家族で勤務しているという社員も多く、まさに「地域とともに発展する内海造船」という印象を強く受けました。

お忙しい中でご案内頂きました宮地部長、天野部長をはじめ、本研修に際してご尽力をいただいた関係者のみなさまに心より御礼申し上げます。



ご案内いただいた宮地部長、天野部長



工場見学に出発



大きな鋼材を搬入するクレーン



艤装中の大型船を見学



船底も見学させていただきました



大型船をバックに参加メンバーで記念撮影

●春光会会長

○就任

川村 隆(日立製作所名誉会長)

○退任

高萩光紀(JXTGホールディングス名誉顧問)

●春光会副会長

○就任

松下功夫(JXTGホールディングス名誉顧問)

○退任

川村 隆(日立製作所名誉会長)

●春光会

○退会

安藤重寿(日立造船)

藤井博行(日立金属)

●春光懇話会会長

○就任

川村 隆(日立製作所名誉会長)

○退任

高萩光紀(JXTGホールディングス名誉顧問)

●春光懇話会副会長

○就任

松下功夫(JXTGホールディングス名誉顧問)

北山隆一(日立ハイテクノロジーズ会長)

○就任(19.12.1)

大谷邦夫(ニチレイ会長)

古川 実(日立造船相談役)

○退任

西尾進路(JXTGホールディングス名誉顧問)

安藤重寿(日立造船名誉顧問)

藤井博行(日立金属名誉相談役)

●春光懇話会会員会社

○社名変更(19.10.1)

SOMPOひまわり生命保険←損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険

○退会(19.9.30)

日立化成商事

○住所変更(19.7.29)

バンテック

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-6-1

みなとみらいセンタービル4階

☎045(306)5221

社名変更のお知らせ



SOMPOひまわり生命

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命から「SOMPOひまわり生命」へ

当社は1981年に創業し、1996年に安田火災海上保険（現損害保険ジャパン日本興亜）と業務提携を始め、SOMPOホールディングスの生命保険事業を担っています。当社は、「健康応援企業」への変革を目指し、お客さまへの分かりやすさおよび名実ともに新しい会社に生まれ変わることを決意し、2019年10月1日に損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社からSOMPOひまわり生命保険株式会社に商号を変更いたしました。

事務局よりお知らせ

春光懇話会事務局長が交替しました



春光懇話会新事務局長
新野 聡

2019年10月31日付で浅井事務局長が退任し、11月1日付で新野事務局長が就任いたしました。浅井事務局長には、2010年2月から長きにわたり、本会運営にご尽力いただきました。

就任ご挨拶 春光懇話会新事務局長 新野 聡

浅井前事務局長の後任を務めさせていただきます新野です。歴史と伝統のある春光懇話会の目的である会員会社相互の親睦・情報交換・ビジネス交流など各種活動に微力ながら邁進して参ります。関係会社各位におかれましては、一層のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

日本橋の進化とともに

当社は、2018年7月16日、本店を神保町の興和一橋ビル（東京都千代田区神田錦町）から日本橋高島屋三井ビルディング（東京都中央区日本橋）に移転しました。旧本社のあった興和一橋ビルには、1970年から入居しておりましたが、災害時の事業継続計画（BCP）の対策に加え、ちょうど会社が創立130周年を迎えて社名を日産化学工業から「日産化学」へと変更することも重なり、本社移転を決断いたしました。

実はここ日本橋は、当社がもともと本社を構えていたゆかりのある町です。

当社は創業50周年となる1937年、日産コンツェルン傘下に入り、1944年6月には日産館の海軍省への引き渡しにより、日本橋区室町の三越に入居。終戦を挟んで1945年10月に日本橋区の白木屋に移転しました。そして1949年7月1日、企業再建整備法を根拠とする分割指令のもと日本油脂（現・日油）が分離し、日産化学工業の新発足にあたり、日本橋本町の新社屋に移転しました。

その後、業容の拡大に対応するため、1970年7月に旧本社のあった興和一橋ビルでの業務を開始したのでした。

徳川家康が江戸幕府を開き、全国の道路網を整備しようとした1603年に、その基準として架けた橋が日本橋と言われており、日本橋は、いわば新しい国を作る原点として、初めて架けられた橋です。現在の橋は、1911年に改築されたもので、中央には日本の道路の起点の証「道路元標」とあります。「全ての道は日本橋に通ず」と言われるのは、そのためでしょう。

「はじめてをつくる」という意味では、「未来のための、はじめてをつくる。」をコーポレートスローガンとする当社にとって、まさにふさわしい場所であり、この土地に舞い戻ってきたのも深い縁を感じています。



日本橋のふもとには、五輪モニュメントが設置され、撮影スポットになっています。



新社屋が入居する日本橋高島屋三井ビルディング



本社受付

今日もなお、多様な文化を受け入れ、発展し続けている日本橋。来年には東京オリンピック・パラリンピックも開催されますし、さらなる賑わいが期待できるでしょう。当社も日本橋の進化とともに、気持ちを新たに発展し続けてまいります。



日本の道路の起点「道路元標」

日産化学 東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング
☎03(4463)8111